塗装仕様書
(アクアシール1400AR)

－コンクリート面－

大同塗料株式会社
技術部

工事件名：

塗装仕様／適応下地...コンクリート面				
工程	使用材料	塗布量(kg/m ²)	養生期間	塗布方法
素地調整	・ ゴミ、未硬化セメント粉末、砂塵、油脂分などの付着物を、ワイヤーブラシ、皮スキ、サンドペーパー、ウエス、水洗いなどで除去し乾燥した清浄な面とする。 (含水率目安：ケット水分計6%以下)			
1	アクアシール1400AR	0.23	24時間以上 乾燥養生	はけ、ローラー スプレー(噴霧器)

- ・ アクアシール1400ARはシラン・シロキサンと浸透性防錆剤、特殊添加剤が主成分です。乾燥すると特殊添加剤がコンクリート表面に付着しています。この特殊添加剤は自然に落ちますが、除去する場合は、塗布終了後(7日後が目安)十分乾燥していることを確認し、たわし、ブラシ、ワイヤーブラシ等で除去してください。アクアシール1400AR塗布後に断面修復や塗装する場合は、必ず除去してください。
- ・ アクアシール1400ARは、夏季の高温下では粘性が低下し、一回では規定量を塗布できないことがあります。この場合は、塗布回数を増やして規定量を塗布してください。
- ・ 気象条件により異なりますが、0～20%のロスが発生する場合があります。必ず1缶あたりの塗布面積を確認し、ロス分を考慮した規定量が塗布されていることを確認してください。
 - ※エアレススプレーの塗布条件：吐出圧 約3MPa、口径 0.5～0.8mm程度
 - ※ローラーで塗布する場合は、砂骨材ローラー(極細目)が有効です。既設構造物等の荒れた表面では中毛ローラーの方が有効な場合もあります。
 - ※噴霧器で塗布する場合は、事前に試し吹きを行い塗布条件を確認してください。

<施工上の注意事項>

- (1) 引火性液体ですので、火気および高温物のあるところでは使用しないでください。
- (2) 取り扱い中はできるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて有機ガス用防毒マスクまたは送気マスク、耐油性保護手袋、保護眼鏡、前掛等を着用してください。塗装中、乾燥中とも換気をよくし、蒸気を吸い込まないようにしてください。取り扱い作業場所には、局所排気装置を設けてください。
- (3) 使用前に良く攪拌し、底部に沈殿物のないことを確認後、希釈せずそのまま使用してください。
- (4) アクアシール1400ARは、コンクリート等の基材に含浸して吸水防止層を形成しその機能を発揮する製品です。その含浸の程度は、基材や、基材の表面状態により変化することがあります。また、塗布した際、稀に風合い変色することがあります。これらを防ぎ、機能を十分発揮させるため、事前の試し塗りにより塗布量の決定と仕上がりの確認を必ず実施してください。
- (5) PC造や養生シートを使用した表面が緻密な構造物では、含浸に数日かかる場合があります。試し塗りで含浸する日数を確認し、規定量を数回に分けて塗布して含浸時間を短くする、あるいは雨養生を行うなど水との接触を避けるようにしてください。
- (6) 気温0℃以下、降雨、降雪の場合の施工は避けてください。また、施工中に降雨、降雪等にあった場合は施工を中止し、シート養生をして塗装面を保護してください。
- (7) 低温下での施工では、施工前に躯体が0℃以上で乾燥していることを確認してください。
- (8) 塗布対象面以外の箇所(植物、金属、ガラス、木材、コーキング材等)は養生等を施し、付着させないようにしてください(固着すると全く除去できなくなる場合がありますので十分注意してください)。
- (9) スプレー機器、ローラー、はけ等は施工部位を考慮して適切なものを使用してください。
- (10) スプレー機器、ローラー、はけ等使用後はシンナー等で洗浄してください。

塗装仕様書 アクアシール1400AR

- (11) コンクリート表面にアクアシール1400ARが残っている間は水がかからないように養生してください。
- (12) 本品には臭気があります。施工にあたっては作業者に注意を促すとともに周辺環境にも留意してください。特に近隣の居住者には施工の前に事前の説明および了承を得るようにしてください。

施工にあたっては、必ず施工手順書をご請求ください。